新潟大学　倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	骨軟部腫瘍における免疫担当細胞・免疫関連分子の発現解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
1980 年以降に当院にて治療された骨軟部腫瘍患者様	
③概要	
これまでに通常の診療のために得られた検体を用いて骨軟部腫瘍における腫瘍免疫環境を調査します。これにより骨軟部腫瘍における有効な免疫治療を確立する一助としたいと考えています。研究を希望されない方は研究への参加を拒否することが可能です。研究へ参加をしないことによる不利益はありません。	
④申請番号	2025-0185
⑤研究の目的・意義	免疫応答が発がんから進展に関わることが明らかになっており、様々な腫瘍においてリンパ球やマクロファージといった免疫担当細胞の腫瘍内への浸潤と再発、予後との関連が報告されています。また、腫瘍は免疫関連分子を発現し、免疫からの攻撃を回避していると考えられており、PD-L1 などの免疫チェックポイントを標的とした治療が様々ながん種で有効性が示されております。骨軟部肉腫における生存率は化学療法の導入により上昇したものの近年は横ばいとなっており、新たな治療戦略が必要となっています。免疫チェックポイント阻害剤を含む免疫療法はその候補となり得ますが、骨軟部腫瘍において腫瘍内の免疫環境に関する報告は骨肉腫、Ewing 肉腫を除きほとんど報告されていません。そこで、本研究の目的は骨軟部腫瘍における免疫担当細胞の浸潤と再発、予後を検討することです。これらのデータをもとに骨軟部腫瘍における有効な免疫治療を行う際の基礎データとしたいと考えています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2028 年年 8 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	提供していただく情報については、氏名を消す代わりに研究用の番号をつけて管理し、その情報だけでは誰のものかわからない状態で利用します（いわゆる匿名化）。他の機関へ情報を提供することはありません。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録、画像検査結果、ホルマリン固定標本
⑨利用する者の範囲	新潟大学整形外科、新潟県立がんセンター新潟病院整形外科・骨軟部腫瘍科
⑩試料・情報の管理に	整形外科・骨軟部腫瘍科

ついて責任を有する者	畠野宏史
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：整形外科・骨軟部腫瘍科 氏名：畠野宏史 Tel：025－266-5111 E-mail：orthatano@niigata-cc.jp